

ふじぎくら



やまなし男と女とのフォーラム (6月9日)



男女共同参画社会づくり功労者大臣表彰 (6月27日)
齊藤尚子さんが受賞しました

目次

特集

県民意識・実態調査の結果から	2
男女共同参画社会づくり	
功労者内閣総理大臣表彰	4
チャレンジインタビュー	5
やまなし男と女とのフォーラム	6
県からのお知らせ	8



特集

山梨県の男女共同参画は進んでいるか？ ～『県民意識・実態調査』の結果から～

山梨県では、男女共同参画社会の実現に向け「山梨県男女共同参画推進条例」、「山梨県男女共同参画計画(第1次)(第2次)」を策定し、さまざまな施策を進めています。

昨年度、県民の日ごろの生活や考え方について知るとともに、「第3次山梨県男女共同参画計画」の策定を行うため、「山梨県男女共同参画に関する県民意識・実態調査」を実施しました。

この調査から県民のどのような意識が浮かび上がったのでしょうか。また、山梨県の男女共同参画は進んでいるのでしょうか。

主な調査結果を全国調査結果や前回(H17)の結果と比較しながらご紹介します。

調査方法・実施概要

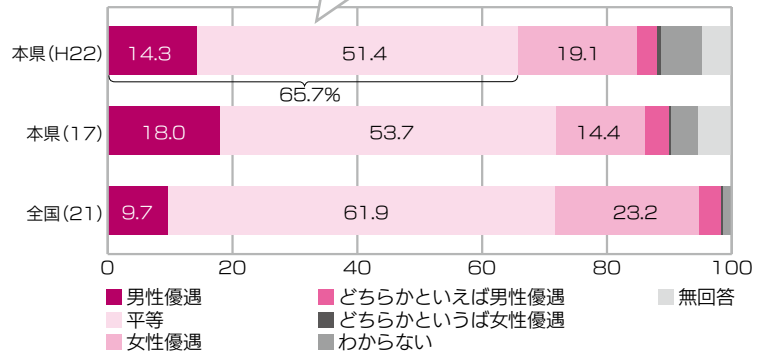
- 調査地域 山梨県全域
- 調査対象 県内在住の20歳以上の男女3,000人
- 調査方法 無作為抽出、個別訪問配布・郵送回収
- 調査期間 H22.10～11
- 有効回収数 1,443人(48.1%)

1) 男女の平等感について ～男女の地位は平等になっていますか？～

社会全体に対しての男女の平等感についてどのように感じているか調査したところ、男性優遇(「男性優遇」と「どちらかといえば男性優遇」)の合計は65.7%となり、前回(H17年度)調査と比べると少なくなっていますが、依然として**多くの方は男女の平等感について男性優遇であると感じています。**

また、「平等」と感じている方は2割(19.1%)にとどまり、男女が平等であると感ぜられる社会とするためには、男女共同参画の視点に立ち、社会慣行などを見直す必要があります。

「男性優遇」が14.3%、「どちらかといえば男性優遇」が51.4%と回答し、多くの方が男性優遇の社会であると感じています。



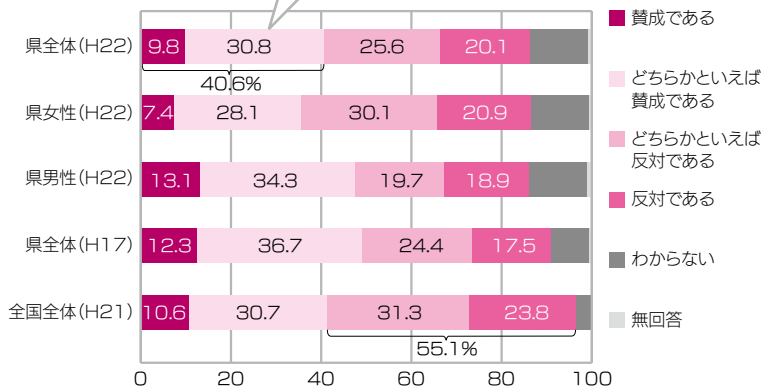
2) 固定的性別役割分担意識 ～「夫は仕事」「妻は家庭」という考えをどう思いますか？～

夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるという考えについて聞いたところ、賛成(「賛成である」と「どちらかといえば賛成である」)の合計は40.6%となり、前回の調査と比べると賛成の割合は8.4%低くなったものの、多くの方が固定的性別役割分担意識を持っている状況です。

特に男性では賛成(同上)が47.4%と半数に近く、反対(「反対である」と「どちらかといえば反対」の計)38.6%を大きく上回っています。

また、**全国調査と比較すると、反対の割合が少なく、固定的性別役割分担意識が強いことが分ります。**

本県は賛成が多く、全国では反対が多い



3) 女性の就業について ~女性が職業を持つことについてどう考えますか?~

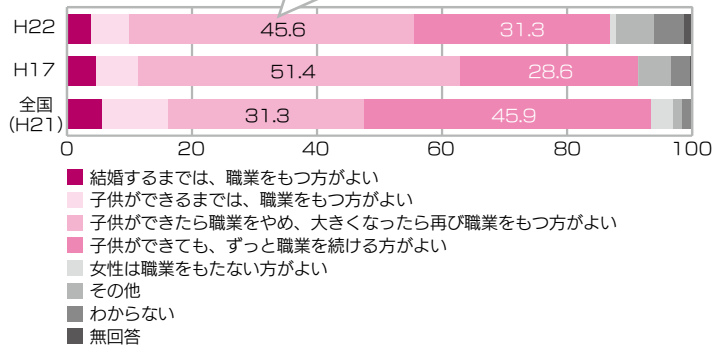
女性の就業について聞いたところ「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」は45.6%で、前回調査51.4%と比べると5.8ポイント低くなっています。

「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」は31.3%で、前回調査の28.6%と比べると2.7ポイント高くなっています。

全国調査と比較すると、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」の考えが、本県は14.3ポイント上回っています。

また、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」は全国より14.6ポイント低くなっています。

本県は「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が最も多い。



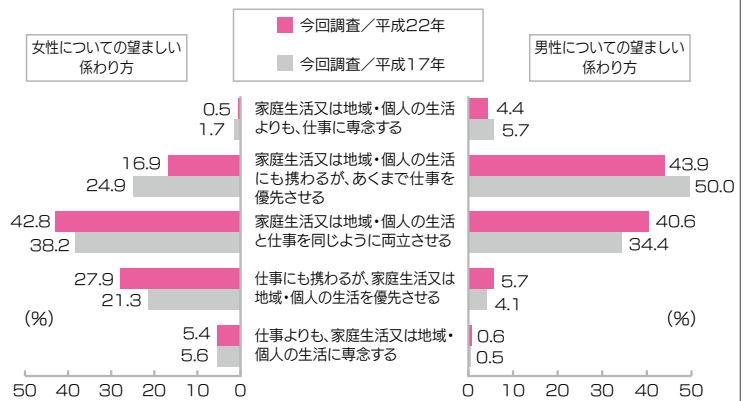
4) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和) ~仕事と生活にどう関わっていくのか~

◎女性についての望ましい係わり方◎

「家庭生活又は地域・個人の生活と仕事を同じように両立させる」が最も多く、前回調査と比べると、「家庭生活又は地域・個人の生活にも携わるが、あくまで仕事を優先させる」は8.0ポイント低くなっています。

◎男性についての望ましい係わり方◎

「家庭生活又は地域・個人の生活にも携わるが、あくまで仕事を優先させる」が最も多く、前回調査と比べると、「家庭生活又は地域・個人の生活と仕事を同じように両立させる」が6.2ポイント高くなっています。



5) 夫婦間の暴力と認識される行為 ~どのような行為が暴力と認識されるのか~

女性の被害経験は、「人格を否定されるようなひどい暴言を受けた」が24.8%、「なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた」が23.5%といずれも**2割以上の人が被害経験**をもっています。

また、男性の被害経験は「人格を否定されるようなひどい暴言を受けた」が12.1%と最も多くなっています。

男女ともに配偶者からの暴力経験がある人が多い状況です。

	まったくない		被害経験あり	
	女性	男性	女性	男性
なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	71.4	80.7	23.5	9.5
あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような言動を受けた	80.3	82.2	13.5	7.3
人格を否定されるようなひどい暴言を受けた	69.4	77.6	24.8	12.1
いやがっているのに性的な行為を強要された	80.6	86.4	13.1	2.9

調査を終えて

県民の意識は前回調査に比べると男女共同参画意識の推進が見受けられますが、依然として固定的性別役割分担意識が残り、意識改革に向けた啓発をより一層進める必要があると考えられます。

本調査の詳細は、県ホームページを御覧ください。▶ <http://www.pref.yamanashi.jp/kenmin-skt/88454692512.html>

齊藤尚子さんが「男女共同参画社会づくり 功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました!



表彰にあたり受賞者の代表として挨拶する齊藤さん

6月27日、総理大臣官邸において、与謝野男女共同参画担当大臣(当時)出席のもと、男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰の表彰式が行われました。

この表彰は、多年にわたり男女共同参画社会に向けた気運の醸成等の功績があった方や、各分野において実戦的な活動を積み重ね、男女共同参画の推進に貢献してきた方などを表彰するものです。

本県から齊藤尚子さんが受賞されました。

活動の内容

齊藤 尚子 さん(元山梨県女性団体協議会副会長)

山梨県女性団体協議会副会長として、男女共同参画社会の実現を目標とし、県、市町村並びに関係団体との協働事業を企画立案し、県下の女性の地位向上と社会参加の促進に積極的に取り組まれました。

地域においても、長年にわたり南アルプス市ハーモニープラン推進会議会長を務め、同市の男女共同参画計画策定やその推進に尽力されるとともに、市民目線での提言を行ったことにより、条例の制定や、男女共同参画都市宣言に結びつくなど、地域に根ざした男女共同参画の推進に寄与しています。

受賞にあたって

齊藤 尚子

このたび、男女共同参画社会づくり功労者として栄えある内閣府総理大臣表彰を受賞し、身に余る光栄であり感謝でいっぱいです。

今改めて歩んできた道を振り返りますと、女性の自立に向けて、女性の地位向上、女性の社会参加、男女共生社会、更に男女共同参画と、その時代の要請に応じた活動には奥深いものがありました。私はこの問題の認識を深め、市民へのアプローチに努め、更に時代の要請を反映した活動を模索し、自治体・団体・学校・公民館などの協力を得て、世代を超えた様々な声をお聴きしながら、暗中模索で歩みを進めてまいりました。また、様々な場面に活動の場が得られましたことは、私にとって掛替えのない幸運なことであり、自分磨きの良い機会でもあったと思っております。

この間、多くの方々への支えやご指導と家族の温もりをいただき、その豊かな人間関係があったればこそ、今日まで歩むことが出来たとの思いを強くしております。この賞は私一人のものではなく、多くの仲間の方々と共にいただいたものと考え喜びを分かち合いたいと思っております。深謝。

この程国の第3次基本計画が策定され、近く県の基本計画も策定されるとか。微力ではありますが、この受賞を新たな出発とし更に研鑽に励み、これからの人生を男女共同参画の推進役として力を尽くし、次世代に伝える決意です。

今後ともご指導をよろしくお願いいたします。



受賞者の集合写真(前列左から1人目)

チャレンジインタビュー

Vol.49

【働く】本物の良いものをお客さんに提供したい

原田 照美さん 輸入雑貨・セレクトショップ

マイダスグループマネージャ（甲府市）



■ 何かしたい!そんな思いを形に輸入雑貨店をオープン!

最初にお店をオープンしたのは27歳の時でした。「自分の好きなものを売りたい」そういう気持ちを持っていて、何か商売をやりたいと考えていました。

最初の店は昭和町にオープンしたのですが、その当時は取引先のメーカーさんも心配するくらい周りにはお店もないし、人通りも少なかった。でも私の思いはここでやるんだと決めていました。

お店を始めるにあたっては、雑貨だけ、洋服だけというのではなく、生活全般に関わるお店、バラエティがあるお店にしようというコンセプトがありました。それはお客さんは皆さんいろんなものに興味があるからです。始めた当時はそういうスタイルのお店はなかったと思います。でも、新しいものをみんなが求めていた時代でしたから、最初から多くの方が来てくれました。

それからは甲府駅ビル（エクラン）やイオンモールなどにもお店をオープンし、現在6店舗になりました。それぞれ輸入雑貨や、インポートウエア、子ども服などを販売しています。

■ 一日が短く感じるほどたのしい。良いものをお客さんへ!

お店のコンセプトは主人と二人で決めていくのですが、私は思い立つとすぐ実行に移したくなるんです。新しいメーカーの商品も「これを販売したい」と思うとすぐ実行してしまいます。商品の方向性は時代とともに変わってくるので、常にいろいろなお店を見て、その良いところを自分のお店にも取り入れています。

同じ商品でも置いてある空間で見え方が変わってきますので、その空間をつくることはすごく楽しいです。逆にヒット商品であっても、お店に置いておかしいと感じるものは置きません。儲けを考えれば扱った方がいいものもありましたが自分の中ではそれは出来ませんでした。



お店で新しく扱う商品は実際に見て決めています。雑貨も洋服も、すべてそうですが良いものじゃないと続かないんです。お客さんが昔買った子ども服を、今度は孫に着せたいと言ってくるのですが、そういう風に良いものは時代が変わっても繰り返し着られるんですね。

私は自分のお店がそういう本物の良いものをチョイス出来る場所でありたいと思っています。これまで働いてきて苦労したと思ったり、辞めたくったことはないですね。それよりもお店にしていると「あれもしたい」と思ってじっとしていらなくなるので、一日が本当に短いです。常に何かを変えたくなる、変化が欲しくなるので、そう思うと走り出して実行してしまいます。

■ これからのこと ~あたらしい取り組み、新しい希望~

最初にお店をオープンしてから22年が経ちましたが、その期間がすごく短く感じます。今が折り返しだとするとこの先も同じように短いのでどうしようかと思えます。やりたいことがあるので厳選してやっていかないといけないですね。

昨年知人で料理研究家の真藤さんと共同で県産果物を使った商品を作ってお店で販売しました。地域の食材を使う地産地消ですね。彼女の腕がいいのでとても美味しい商品となりました。また次の商品も検討中なんですよ。

これからは、例えばリカブの空間をイメージした家づくりやこれまでとは違ったリゾート地でのお店といった新しいことにも興味があります。家はその人の人生で一番大きな買い物ですから、その中に私のお店で売っているものを飾ったりしていただいて、それでその家や生活がステキになったら最高に楽しいですね。

実現するかは分らないのですが、そんな風に今後の抱負は自分にできることがあるなら、もう少しやっていきたい、表現していきたい、そういう希望を持っています。

原田さんのこれまで

結婚し家業（種苗店）を手伝いながら自分でお店を始める気持ちを持つ。

27歳の時に輸入雑貨を扱うマイダスを昭和町にオープンする。

甲府駅ビル（リカブ他）や昭和町にも新しい店舗を展開。現在6店舗を構える。

現在：商品の企画（共同開発）を進めるなど新しい取り組みが続く。

これからチャレンジする女性へのメッセージ

それぞれ生き方が違うから一概にこれをとは言えないけど、仕事でもそれ以外のいろんな活動でも好きなことをやるのが一番大事です。

自分が楽しいことをやっているといろんな意味で周りも幸せになるんじゃないかと思えます。考え方次第で気持ちも変わってくるから、明るく楽しく生きると良いことがあると思います。

Vol.48以前のインタビューは、やまなし女性の応援サイト
<http://www.pref.yamanashi.jp/challenge/interviewlist.php>でご確認ください。

平成23年度 やまなし^{ひと}男と女とのフォーラム

～もう一歩 踏み出す勇氣 あらたな社会～

6月9日県立文学館において、男と女とのフォーラムを開催しました。

●パフォーマンス 寸劇「女性にだってできるさ」



▶ 出演：劇団かえ～る座(甲州市男女共同参画推進委員会)

女性にだってできるさ！お母さんが公民館の館長さんに推薦されたことをきっかけに、女性が役職に就くこと、家庭内の家事の役割分担を見直すことを話し合うというある一家の出来事を楽しい甲州弁で披露していただきました。

また劇に先立って替え歌「男女でつくろう甲州市」の披露もありました。

●男女共同参画推進事業者等表彰

県では、男女共同参画を推進する活動に積極的に取り組んでいる個人や事業者等を表彰しています。今年度は、次の方々表彰されました。

県民表彰

飯室 静江	(南アルプス市)
斉藤 文子	(国際女性教育振興会山梨県支部)
清水 保野	(甲府市女性団体連絡協議会)
田中 陽子	(甲斐市)
玉川 秀城	(あしたの山梨を創る生活運動協会)
保坂 衣子	(市川三郷町)
水上 好子	(山梨県女性団体協議会)
山田 清子	(大月市)

事業者表彰

株式会社はくばく
株式会社YSK e-com
生活協同組合パルシステム山梨

女性のチャレンジ表彰

JA鳴沢村加工部会 樹型の里

(50音順)

●シンポジウム「もう一歩 踏み出す勇氣 新たな社会」

パネリスト

窪田真弓さん	NPO法人 富士川・夢・未来 事務局員
玉川秀城さん	こま未来塾理事・ 昭和町男女共同参画推進委員会委員長
長坂勝弘さん	ニスカ株式会社 総務部総務課長
奈良泰史さん	都留市総務部長

コーディネーター

萩原なつ子さん	立教大学教授
---------	--------



シンポジウムの始めに

これまで男女共同参画の推進と言われてきたが、実質的に男女共同参画社会を実現するにはどうしたらいいか、そのヒントとして各パネリストからそれぞれの活動や考えを発表していただき、観客の皆様一人ひとりがちょっと一歩踏み出してみようかなと思っていただくことを、今回のシンポジウムのねらいの一つとしました。

各パネリストの活動・思い

▶窪田さん

「富士川・夢・未来」は地域のやる気を起こさせる、そして地域の人たちが広報したくなるような地域をつくるということを目指しています。活動では男女共同参画を意識したことはありません。男女に関係なく皆さんと仲良く活動することで地域のつなぎ目を作ることを進めています。

女性がやっている、男性がやっているさまざまなお店などをつなぎ、地域の中で循環させて情報を発信することで、地域内外のつなぎ目をつくっています。峡南地域における男女共同参画は、これからも色々な活動が展開されていきます。

▶玉川さん

私は、今まで育てていただいた地域社会に恩返ししたいと早期に企業を退職し、「男女共同参画社会アドバイザー養成講座」受講生募集の記事を見たことをきっかけに、4期にわたり講座を受講しました。しかし男女共同参画を理解するには実際に体験しなければと考へ、妻に明日から夕飯を作ると伝えました。その後料理教室に通い始めて、現在、家事の大部分を担っています。また、現在では男性のための料理教室も開催しています。

男女共同参画は女性の為だけにやっていることではなく、尊重の気持ちを基本として、すべての人が職場、地域社会、家庭のあらゆる場面で、男性にとっても女性にとっても生きやすく暮らしやすい社会の事です。世の男性にもっと理解出来る様な活動をこれからも続けていきたいと思ひます。

▶長坂さん

我が社では、女性がさまざまな分野で活躍していますが、特に女性の活躍を意識したわけではありません。男性も女性も育てて行き、その結果が女性の登用やワーク・ライフ・バランスにつながっています。人の気持ちは一つですから、家庭で何かあればそれが仕事に影響し、仕事で良かった事が家庭の中に影響します。そこで仕事も家庭もどちらも大切にしなければならぬし、結果的に企業にもメリットになります。

それから企業は地域・行政の取組を取り入れたたり、逆に企業での男女の育成が地域社会に出ていき、それがゆくゆくは地域全体の活性化にもなるので、そういう役割も企業がこれから担っていかなければならぬと思ひています。

▶奈良さん

都留市は協働型のまちづくりを進めるために、「男女のパートナーシップの構築」「地域の担い手として市民、事業者、その他さまざまな主体者が一緒にまちづくりを考えていく」という二つの視点を両輪として進めていく必要があると考へ、その結果として男女共同参画の推進に取り組むこととなり、他に先駆けて平成12年に男女共同参画基本条例を制定し、13年には男女共同参画宣言都市となりました。

具体的な取組としては、女性に力をつけていただくための「きらめき女性塾」を開催し、毎年10名程度を公募、これまで250人位の方がOBとして巣立っています。この方たちが中心になって地域の共同参画を進めて地域づくりを担っていただいています。

萩原コーディネーターのまとめ



何かを変えようとするためにはパニックゾーンに入っていかなければなりません。挑戦することで恐れや怖いと思うことがあると思ひます。しかしパニックゾーンに入ることによって成長してきます。その成長の過程で課題を発見し、その課題を解決するために協力をしていくということが大事じゃないかなと思ひます。

それから、これからは人、組織、地域の結び目を作っていくことがもっと必要になっていくと思ひます。近年市町村の合併が進みましたが、これからは心の合併が必要です。地域では無意識に男女は一緒にやっぺいかないとうまくいかないということは皆が認識しています。そこで行政や企業、支援組織といった色々な方たちが協働して、男女が共に21世紀にふさわしい社会を作っぺい

いく運動がこれからの目標の一つだと思ひます。

このシンポジウムで出された活動や意見をヒントに、皆さんもそれぞれの地域に戻って、男女共同参画の地域づくりにつなげていただきたいと思います。

県からのお知らせ

これからの事業のご案内

暑い夏が終わり、これからの時期はお出かけしやすい季節ですね。
ぜひ、県及び男女共同参画推進センターの事業に御参加ください。

★ 男女共同参画推進センターぴゅあ富士フェスタ2011

10月22日(土)・23日(日) 男女共同参画推進センターぴゅあ富士にて

● 講演、活動発表、ミニコンサート、バザー、ワークショップほか

★ 企業における男女共同参画推進セミナー

11月2日(水) 13:30～ 県立文学館研修室(甲府市貢川1-5-35)

● 講演及び事例発表 ※内容は企業の人事担当者向けですが、一般の方も参加できます。

★ 配偶者等からの暴力(DV)についての講演会

11月16日(水) 13:00～男女共同参画推進センターぴゅあ総合にて

● 劇:「あるDV被害者の告白」(劇団さくらっ子)

● 講演会:「DV・デートDVを理解する～身近な問題としてDVをとらえよう～」

(講師 西山さつきさん(NPO法人レジリエンス副代表))

★ DV防止啓発企画展示「暴力はダメ」の開催

11月12日から25日 男女共同参画推進センターぴゅあ総合展示コーナーにて

配偶者からの暴力(DV)について知っていただくため、資料やパネルを展示します。



男女共同参画を積極的に推進している・推進しようとする企業の皆さんの応募をお待ちしています!

詳しくはこちら

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenmin-skt/30054557987.html>



やまなし女性の応援サイト

チャレンジしたいと考える女性が必要とする情報をいつでもどこでも入手することができるサイトです

詳しくはこちら

<http://www.pref.yamanashi.jp/challenge/index.php>

編集後記

東日本大震災をきっかけに「防災・復興」における男女共同参画に注目が集まっています。これまで女性の視点が必ずしも活かされていなかったこの分野も男女共同参画の重要なテーマです。男女共同参画の視点は誰もが生きやすい社会です。いざという時のために各家庭、地域、職場の皆さんで話し合ってみてはいかがでしょうか。



編集・発行

山梨県県民生活・男女参画課

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 Tel. 055-223-1358 E-mail: kenmin-skt@pref.yamanashi.lg.jp

山梨県立男女共同参画推進センター

● ぴゅあ総合: 〒400-0862 甲府市朝気1-2-2 Tel. 055-235-4171

● ぴゅあ峡南: 〒409-2305 南巨摩郡南部町内船9353-2 Tel. 0556-64-4777

● ぴゅあ富士: 〒402-0052 都留市中央3-9-3 Tel. 0554-45-1666